

8-4-30 PM専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) PM 専門委員会の開催

主に建設コンサルタントがインフラ整備事業に関する CM/PM 関連業務へ参画し、業容の拡大を図ることを目的として、平成 28 年度の専門委員会は 11 回開催した。

(2) PM セミナー2016 の開催

a) セミナーの概要

- ・日時：平成 28 年 12 月 5 日(月)
- ・場所：都市センターホテル
- ・参加人数： 72 名

b) セミナーの内容

① CM 業務の特徴と現状の課題について

- ・建設コンサルタントが目指す CM 方式や今後の CM 方式への対応方法等を概説した。

② 震災復興事業における CMR の事例

- ・三陸沿岸道路事業 PPP (釜石山田工区) について CMR のマネジメント業務、業務の発注手順、円滑な事業推進と工期短縮等について説明がなされた。

(講師：パシコン・安藤ハザマ・不動テトラ設計共同体 パシフィックコンサルタンツ株式会社北海道支社 交通基盤事業部長 鈴木 剛氏)

③ 講演：福島県版道路 CM の取り組み

- ・建設コンサルタントに求められる役割等、発注者の視点から見た CM 方式導入のあり方について説明がなされた。

(講師：福島県 土木部道路整備課 主任主査 佐藤 文裕氏)

(3) 平成 28 年度マネジメントセミナーへの参画 マネジメントシステム委員会傘下の専門委員会として参画した。

a) セミナーの概要

- ・開催日：平成 28 年 7 月 1 日～27 日
- ・場所：建コン協 9 支部提供の会場
- ・参加人数：1,299 名

b) PM 専門委員会対応個所「CM 業務の普及に向けて」

① 発注者支援業務と CM 方式の相違や特徴、CM 方式の課題を受け、今後の建設コンサルタントが目指す CM 方式について説明した。

② CM 業務の事例(各略名)として、CM 方式に異なる役割で実施している 4 事例(御笠川における河川激甚災害事業、南三陸町志津川地区の UR 震災復興事業、過年度事例の豊田市こまどり公園、知見八鹿線道路事業)を紹介した。

(4) 土木学会契約小委員会へ委員派遣

監理業務委託契約約款、共通仕様書等の検討について、委員として参加しコンサルタントの立場からの意見を反映した。

(5) 東日本復興 CM 方式の検証と今後の活用に向けた研究会(国土交通省)及び震災復興マネジメントを活用した事業推進検討会(UR 都市再生機構主催)への参加

今後のマネジメント方式の活用と実務のとりまとめに際して意見を提出した。

(6) 監理業務緊急対応 WG への支援

熊本震災復興で導入されている PM/CM に対する課題整理を支援

(7) PM/CM 講師派遣

平成 28 年度は講師派遣実績なし。

2. 次年度の活動について

① 現在導入中の CM 方式に対する効果、今後の取り組み方について検討・整理する。

② PM セミナーを開催し、建設コンサルタントに対する CM 方式の技術習得を図る(上記①の結果も活用)。

③ CM 方式活用の手引きの改訂の準備を進める。

④ 土木学会の活動に注視し、積極的に連携して建設コンサルタントにおける CM 方式のあり方を提案していく。

⑤ 地方自治体への講師派遣を継続的に実施し、行政への CM 方式の必要性を説明し、CM 方式の拡大を図る(上記①の結果も活用)。

(PM 専門委員会委員長 畔柳 耕一)